

承認番号	4139
研究課題名	食道多チャンネルインピーダンス・pHモニタリングを用いた胃食道逆流症の病態解析
研究の意義・目的	胃食道逆流症は食道多チャンネルインピーダンス・pHモニタリングを用いて非びらん性胃食道逆流症等の4つの疾患に分類されます。診療録から発生頻度を調査、病態を解析しその特徴を明らかにすることにより、現状の把握および今後の研究・診療の発展に寄与するものと考えられます。
研究を行う期間	承認後～2025年3月31日
研究対象者の範囲	2007年2月13日～2021年11月12日に大阪市立大学医学部附属病院消化器内科で胃食道逆流症と診断され、食道多チャンネルインピーダンス・pHモニタリング検査を施行された患者様が対象です。
お願いする内容	<p>■大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p>
	<p>検査所見、診療記録等を参照し、データを収集させていただきます。食道生検を行っている場合には、組織を研究に使用させていただきます。</p>
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 田中史生
この研究を行っている施設（共同研究機関）	本研究は当院のみで行い、共同研究機関はありません。
代表施設のURL	https://www.med.osaka-cu.ac.jp/shoukaki/
研究の成果を公表する方法	研究結果を国内外の消化器領域を中心とした医学学術雑誌や学会にて公表します。その際、個人情報には公表しません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>電話：06-6645-3811 大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 担当者：田中 史生</p>